釘山チームが優勝

28チーム・160人が出場

きになるスタンプ杯ゲートボール大会

「きになるスタンプ杯ゲートボール大会」が25日、郷ノ浦町、大谷ゲートボール場で開かれ、白熱した好ゲームが展開された。

今回で18回目となる同ゲートボール大会は、市内各地から28チーム、160人が出場して行われ、どのゲームでも選手たちは優勝を目指して熱戦を繰り広げ、釘山チーム（郷ノ浦町）優勝してトロフィーとメダル、賞品を獲得した。

準優勝は黒潮会（勝本町）、3位・新庄東（同）、4位・昭和町（石田町）。

好ゲームを展開した選手たち

健闘！壱岐選手団

第9回県ねんりんピック

県、県健やか長寿財団、県老人クラブ連合会が主催の第9回県ねんりんピックスポーツ交流大会が「全国健康福祉祭宮城・仙台大会」への派遣選手選考会を兼ね12日、長崎市、総合運動公園他9会場で、県内各地から18種目に選手、役員約3千人が参加して開かれた。

高齢者がスポーツと文化活動を通じて、健康の保持、増進、生きがいの高揚を図り、明るい長寿社会づくりを推進しよう―などと行われ、本市選手団は、ボウリングの女子の部で村川

大宝渡良クラブが優勝

第18回九郵杯市SPソフトボール

第18回九州郵船杯市SPソフトボール大会が5月13日、郷ノ浦町、大谷グラウンドと専用球場で6チームが出場して開かれ、大宝渡良クラブが優勝した。

大会は3チームずつA，B2パートに分かれて行われ、決勝戦は両パートの1位チームによって競われ大宝渡良クラブと郷ノ浦クラブが対戦、同渡良クラブが10―7のスコアで優勝した。両パートの2位チームで行われた3位決定戦は、芦辺壮年クラブと渡良クラブが対戦、芦辺壮年が3位になった。

最優秀・優秀選手、には優勝チームから、最優秀に石橋幹行選手、優秀に野元憲治選手が選ばれた。敢闘賞は田原忠信選手（郷ノ浦）、山本一也選手（芦辺壮）の2人。監督賞・下条浩治監督（大宝）。

渡良SCが優勝

九郵杯・市小学生ソフトボール

第8回九州郵船杯市小学生ソフトボール大会が5月12日、13日の両日、郷ノ浦町、大谷専用球場とグラウンド野球場で、第26回全国小学生・第14回西日本小学生・第30回九州小学生・県ソフトボール大会壱岐予選と合わせて行われた。

同大会には市内の6チームが出場して攻守にファインプレーが見られる好ゲームが展開され、決勝戦で渡良SCを4―2のスコアで破った芦辺レッドパワーズが優勝、全国県予選への切符を獲得した。

準優勝の渡良SCが西日本県予選、3位の初山ファターズが九州県予選に出場することになった。

本市選手団・勇躍出発！

第18回九郵杯市SPソフトボール

第12回県障害者スポーツ大会が26、27日、長崎市、総合運動公園・かきどまり陸上競技場をメイン会場に開かれたが、同大会を前に26日、本市選手団（団長・篠崎絹代市身体障害者福祉協会副会長）の壮行式が午後零時40分から石田町、印通寺港公園で開かれた。

壮行式では、市福祉事務所・川原裕喜所長の挨拶に続き、白川博一市長、県壱岐振興局・久村豊彦局長・市議会・市山繁議長が「練習の成果を最後まで発揮して、けがをしないように注意して、良い成績が残せるよう頑張ってきてください」などと激励、団長の篠崎同福祉協会副会長が「励ましの言葉、様々な支援に感謝しています。頑張ってきます」などと決意表明、選手団を山本啓介県議が万歳で激励、選手たちは同1時20分発のフェリーで大会に向け勇躍出発した。

印通寺港ターミナル前で行われた壮行式

5クラブが出場

赤木保旗争奪・市少年剣道大会

壱岐剣道協会主催の第24回赤木保旗争奪・市少年剣道大会が3日午前9時から午後1時まで、郷ノ浦町、盈科小学校・体育館で、市内5少年剣道クラブが出場して開かれる。

社説　iki shinpou

「変化」をおそれずに

まったく早いもので辰年の2012年も今日から6月・水無月。最近は日差しの強さ、蒸し暑さを感じる日もあり、梅雨入りが近づいてその日が気になる頃になった。

今年は春に、新聞の廃刊、創刊など、公私ともども大きな出来事が続いたこともあったからか、時の流れが特別に加速しているように感じられ、変化、変革「変わる」という言葉が、自分にとってもキーワードで、それを実感する年のように感じている。何かが変わり何かが新たになるということは、本当に素晴らしいことである。

「地球に触れなさい　大地を愛しなさい　地球を讃えなさい　平原、谷、丘、海を讃美しなさい　静かな　誰もいない場所で　あなたの魂を休めなさい　なぜなら　すべての生命（いのち）は　地球からの贈り物です　そして生命は　生きものだけでなく　すべてのものに与えられているのです」と、この詩を紹介するなどして新聞づくりがスタートした今年。

春には市長選があり、白川博一市長が再選を果たした。いよいよこれからが手腕の見せ所であり、この4年間はこの島・壱岐にとっても非常に大切な時期になろう。出始めた「芽」をいかに伸ばし育てるのか、前号、今号と2回にわたり掲載した▽離島振興▽行財政改革▽産業の振興▽福祉・健康づくり▽教育▽病院事業▽防災―の項目からなる市長の所信表明を参考に、この島のこれからについて、市民それぞれに考え、未来像を描き、行動を各々の場で前向きに起こして淡々と進めたい。

これなども変化の表れ。目指すポイントは、市民であれば、その所信表明にもあるように、壱岐の振興、発展はもちろん、明日に希望が持て、幸福感が実感できる生活、まち―など。皆が共有しているはずの非常に基本的なものであり、漠然としているものの、個々の場という視点から見ると、当然そのポイントへは様々な行き方、目指し方があるが、より具体的に観じられる行動への手掛かりが見えてこよう。観じられれば、後はチャレンジを多角的に起こし続けることである。

時に共感し合える人たちとつながって共に行動したり、さらに新たな出会いから新たな道を行ったり、時にはネットワークやコミュニケイションにとらわれることなく羽ばたき、思いっきり自分を表現してみることで、新たな経験を得る中に、自分にとっての「芽」につながるような「何か」を発見することも。

とにかく動いてみる。考えているだけでなく、動いてみなければわからないことも多いもの。まさに自分を含めてその変化をおそれずに―である。

《俳句　島を詠む　六月①》

六月や白き小花の香の充つる

目良　奈々月

六月の季語を繙（ひもと）くと、まず花の多さ驚きます。各々の花の名前を覚え、選ぶのも楽しい時間ですが、掲句はこの時期に小さな白い花が競うように咲き、島の山路を歩きつつその芳香も堪能できる嬉しさを表現しました。

慶弔

（17日～23日届出分）

○おたんじょう

【勝本町】▽志賀彩乃（あやの）ちゃん／清悟・西戸触

【芦辺町】▽平山ひなり（ひなり）ちゃん／健人・芦辺浦▽山口明莉（あかり）ちゃん／聡・諸吉本村触

●おくやみ

【勝本町】▽大久保イツ子さん（100）坂本触▽亀井眞貴子さん（83）本宮南触▽立石ミツ子さん（95）勝本浦

【芦辺町】▽白川治幸さん（83）中野郷本村触

【石田町】▽野本君江さん（75）池田仲触

白川市長所信表明

～1面から～

○病院事業について

市民病院については、長崎県病院企業団加入に向け、懸命に取り組みを行っております。

構成団体である県及び5市1町の同意を得るその前段として、2月2日には市山議長とともに長崎県知事へ、また4月20日に、再度、長崎県知事と面会し、病院企業団加入についてご理解とご指導をお願いしたところであります。

また、5月2日に対馬市への協議を皮切りに、構成団体への協議を市山議長のご協力をいただきながら進めているところであります。

今後については、県、企業団のご指導を受け、加入条件の諸課題を整理し、県、関係構成団体の議会、企業団議会等の承認、法的手続き等を進め、早期加入を目指してまいります。また、職員の処遇につきましても、それぞれ所管部署の体制を強化し、協議を進めております。

精神科病床の一日も早い再開、救急救命率の向上など、壱岐市の医療を守るため、強い決意を持って取り組んでおりますので、議員各位、市民皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

尚、平成25年4月から市民病院へかたばる病院の機能を統合し、経営の一本化を図ってまいります。

○防災について

東日本大震災から1年が経過し、被災地においては、国が総力をあげて復旧・復興に取り組まれております。

この東日本大震災は、これまで想定した災害をはるかに超えるもので、今後の災害対策に多くの教訓を残しました。こうした教訓を活かすべく、これから策定致します市の地域防災計画については、特に、地震津波対策と原子力災害対策について、国が定める防災基本計画や県の地域防災計画との整合性を図りながら、見直しを進めてまいります。なお、原子力災害については、東京電力福島第一原子力発電所の事故の状況を見ますと、未だ多くの避難者が、ふるさとに帰ることができない状況が続いている中で、壱岐市は九州電力玄海原子力発電所からUPZ（緊急防護措置計画区域）30㎞圏内に入ることから、万が一事故が起きた場合のことを考えますと、市民皆様の生命・身体・財産、そしてこのすばらしい壱岐を守る観点から、原子力発電所の原則廃止の立場をとっているところであります。また、5月7日には、九州電力（株）に対し、佐世保市、平戸市、松浦市、壱岐市そして伊万里市の玄海周辺5市長により、安全協定締結のための要請活動を実施したところであります。今後、長崎県、そして関係自治体と十分連携を図り、対応してまいります。

大規模な災害に対応するためには、公助の充実はもちろんのこと、共助・自助を高めていくことも重要であります。災害に備え、地域における防災力の向上を図るため、今後も自主防災組織の育成や災害時の応援体制として、災害時相互応援協定の締結などを進めてまいります。

○おわりに

以上をもちまして、今後の市政運営に対する所信の一端を申し述べましたが、これからも直面する行政課題に対応しながら、行財政改革を推進し、財政の健全化に努めますとともに、明日に希望の持てるまちづくりに誠心誠意全力で取り組んでまいります。市民皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

尚、本日提出いたします案件は、専決処分の報告及び人事案件の同意を含めた5件でございます。何卒十分なご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。